

経営比較分析表（平成30年度決算）

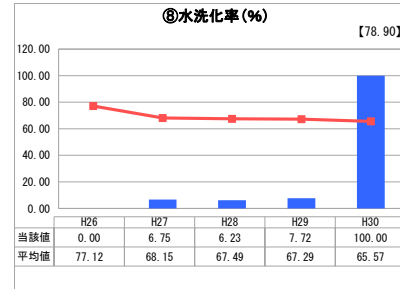
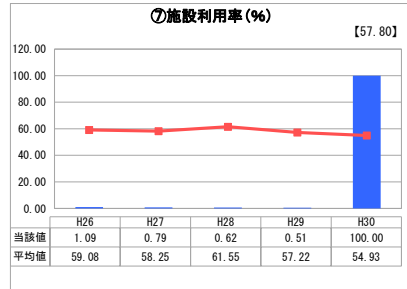
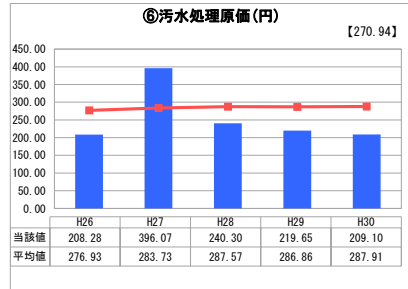
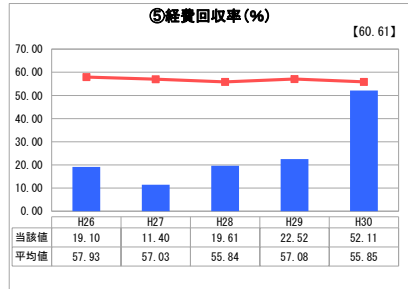
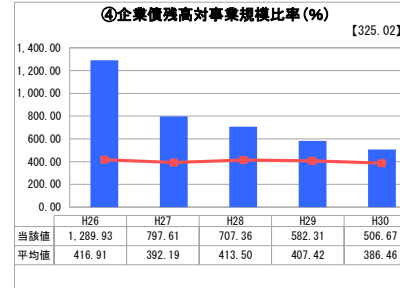
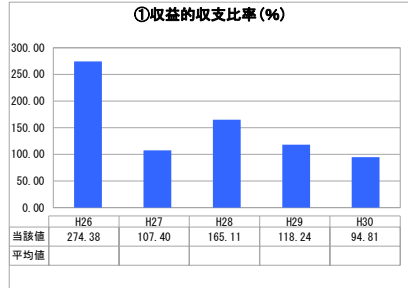
埼玉県 皆野・長瀬下水道組合

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	3.01	100.00	2,052

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
-	-	-
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
506	89.18	5.67

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益の収支比率は平成27年度に大きく減少した後、年度によって数値が乱高下している。これは、浄化槽設置基数の増減による収益の変化の表れだと思われる。組合の事業計画では年間30基の設置を見込んでいるが、満たない場合もあります。今後も注視していきたい。

企業債残高対事業規模比率は類似団体平均値よりもやや高く、使用料収入等では採算がとれず、起債収入にも頼っている状況が読み取れます。また平成25年度に関しては事業開始年度であり、設置費用がかかっても料金収入が遅れて入ってくるため異常値となってしまうのですが、ここ数年で落ち着きを取り戻しています。すこしずつではあるが減少してきており、全国平均値に近づいているので、今後もう少しの数値になるように経営努力を重ねていきたい。

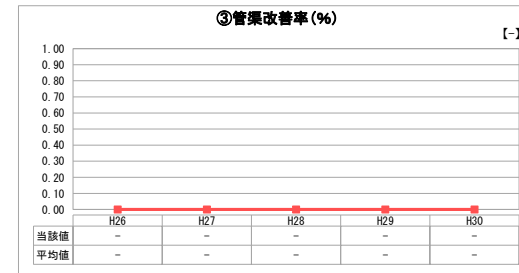
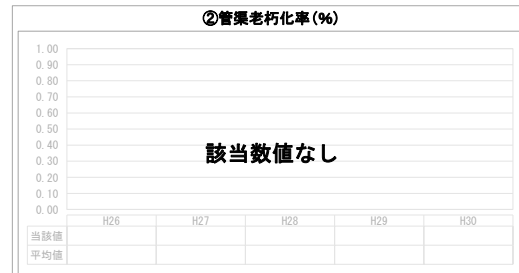
経費回収率は設置基数の増により汚水処理原価が減少したことに伴い改善されました。今後もより多く利用して頂ける事で改善傾向に向かえるため普及促進活動にも力を注いでいきたい。

施設利用率と水洗化率に関しては、数値の算出の方法が今まで誤っていたこともあり今年度から訂正しています。（決算統計ハンドブック参照）

2. 老朽化の状況について

該当なし

2. 老朽化の状況



全体総括

当組合では、平成25年度より市町村整備型浄化槽事業が開始されました。まだ事業が開始されて間もないこともあり、設置数、経費回収率などが低い状態にあります。しかし、組合が行っている他の事業（特定環境保全公共下水道事業）が平成28年度末に認可区域の見直しを行い、区域を拡大しないことを決めたため、浄化槽の対象戸数の増加が見込まれる事となりました。

地域の環境保全の為に設置件数を1件でも多く合併浄化槽の設置していただけるように職員全員で普及活動と取り組んでいくつもりです。

また、今後の事業展望は今後は令和2年度に経営戦略の策定を予定しており、収支のバランスのとれた事業投資を行っていく予定です。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益の収支比率の類似団体平均等を表示していません。